

都市再生整備計画 事後評価シート

水戸市都市中枢地区

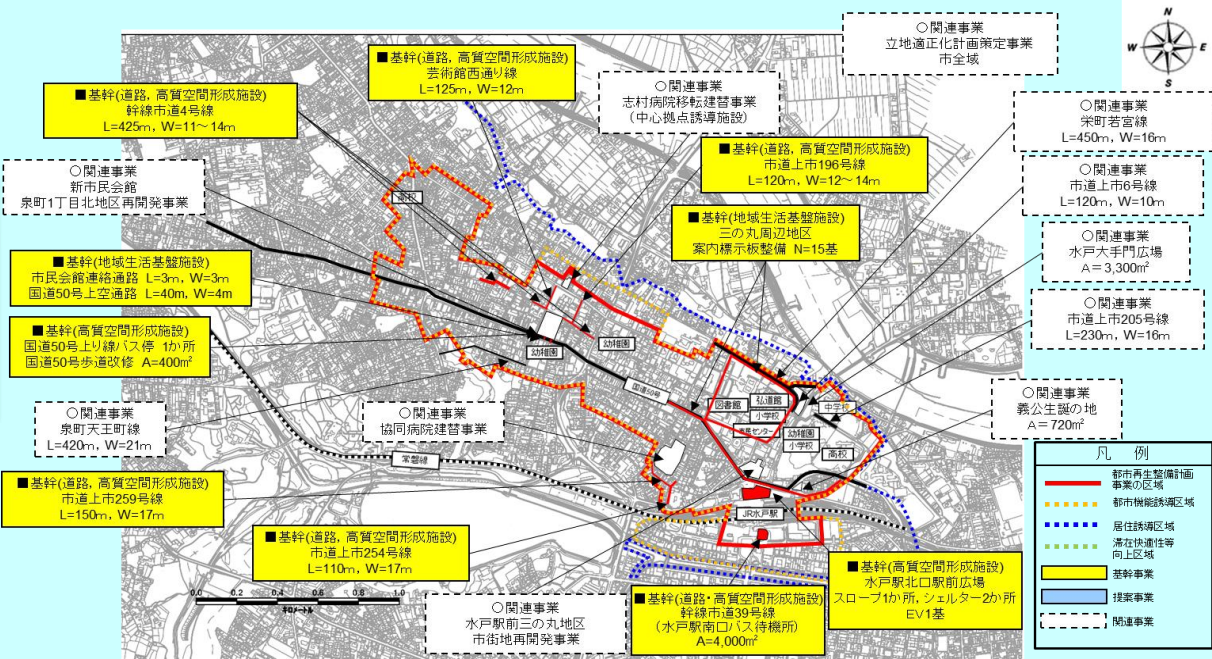
令和5年3月

茨城県水戸市

様式 2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	水戸市	地区名	水戸市都市中枢地区			面積	157ha					
交付期間	平成29年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	3,422	国費率	0.5							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路(市道上市254号線、市道上市259号線、幹線市道4号線、市道上市196号線、芸術館西通り線)、地域生活基盤施設(市民会館連絡通路)、高質空間形成施設(市道上市254号線、市道上市259号線、幹線市道4号線、市道上市196号線、芸術館西通り線、水戸駅北口駅前広場)										
			提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
			基幹事業	道路(市道上市250号線、市道上市190号線、市道上市191号線) 高質空間形成(市道上市250号線)		事業実施を見合わせたため削除		影響なし						
	新たに追加した事業		提案事業											
			基幹事業	道路(幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)) 地域生活基盤施設(三の丸周辺地区、国道50号上空通路) 高質空間形成施設(幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)、国道50号(上り線バス停)、国道50号(歩道改修))		道路:交通ネットワークの強化のため。 地域生活基盤施設:中心市街地における回遊性を高めるため、及び、拠点施設を連携し、一体的な交流空間の形成を図るため。 高質空間形成施設:バス待ち環境の改善を図るため、及び、歩行環境の向上及び賑わい創出に寄与する景観整備を図るため。		道路:影響なし 地域生活基盤施設:影響なし 高質空間形成施設:影響あり						
	交付期間の変更		提案事業											
			当初変更	平成29年度～令和3年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
指標1		歩行者通行量	人	109,800.0	H26	132,400.0	R4	モニタリング	評価値	×	あり なし	○	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、社会経済活動の自粛、縮小による。	令和7年度
指標2		歩行者空間満足度	%	26.0	H26	52.7	R4			○	あり なし		水戸駅、芸術館周辺地区の整備が進んだことにより、利用者の満足度が向上し、目標値を上回った。	
指標3											あり なし			
指標4											あり なし			
指標5											あり なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		指 標		単位	従前値	目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1						モニタリング	評価値						
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4) 定性的な効果発現状況														
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

水戸市都市中枢地区（茨城県水戸市） 都市再生整備計画事業の成果概要							
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値	
大目標: 全ての人が安心して暮らせる多極ネットワーク型コンパクトシティの実現 目標1: 都市機能の集約と居住の誘導による機能的な都市の実現 目標2: 公共交通ネットワークの形成による利便性の高い都市の実現		歩行者通行量	単位: 人	109,800	H27年度	132,400	R3年度
		歩行者空間満足度	単位: %	26.0	H27年度	52.7	R3年度
 水戸駅北口駅前広場シェルター  ■ 基幹(道路, 高質空間形成施設) 幹線市道4号線 L=425m, W=11~14m ○ 関連事業 新市民会館 泉町1丁目北地区再開発事業 ■ 基幹(道路, 高質空間形成施設) 芸術館西通り線 L=125m, W=12m ○ 関連事業 志村病院移転建替事業 (中心拠点誘導施設) ■ 基幹(道路, 高質空間形成施設) 市道上市196号線 L=120m, W=12~14m ○ 関連事業 立地適正化計画策定事業 市全域 ■ 基幹(地域生活基盤施設) 三の丸周辺地区 案内標識板整備 N=15基 ○ 関連事業 栄町若宮線 L=450m, W=16m ○ 関連事業 市道上市6号線 L=120m, W=10m ○ 関連事業 水戸大手門広場 A=3,300㎡ ○ 関連事業 市道上市205号線 L=230m, W=16m ○ 関連事業 義公生誕の地 A=720㎡ ■ 基幹(高質空間形成施設) 国道50号上り線/バス停1か所 国道50号歩道改修 A=400㎡ ○ 関連事業 泉町天王町線 L=420m, W=21m ○ 関連事業 協同病院建替事業 ■ 基幹(道路, 高質空間形成施設) 市道上市254号線 L=110m, W=17m ○ 関連事業 常盤線 ■ 基幹(道路, 高質空間形成施設) 市道上市254号線 L=110m, W=17m ○ 関連事業 水戸駅前三の丸地区 市街地再開発事業 ■ 基幹(道路・高質空間形成施設) 幹線市道39号線 (水戸駅南口バス待機所) A=4,000㎡ ○ 関連事業 市街地再開発事業 ■ 基幹(高質空間形成施設) 水戸駅北口駅前広場 スロープ1か所, シェルター2か所 EV1基 凡 例 ■ 都市再生整備計画事業の区域 ■ 都市機能誘導区域 ■ 居住誘導区域 ■ 滞在誘導性等向上区域 ■ 基幹事業 ■ 提案事業 ■ 関連事業 幹線市道4号線							
まちの課題の変化		・幹線市道4号線、市道上市196号線、芸術館西通り線を整備したことにより、水戸芸術館や新たな市民会館周辺における交通体系の安全性・快適性が高まった。 ・水戸駅南口バス待機所や、水戸駅北口駅前広場を整備したことにより、重要な交通結節点である水戸駅の利便性が高まった。					
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		・中心市街地の交流拠点や周辺道路の整備、交通体系の見直し等を絡めたまちづくりを推進する。 ・駅やバス停といった交通拠点の機能性向上をはかり、市内外の人々の交流ネットワークの強化を推進する。					

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式 1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式 1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（完成状況）
- 添付様式 2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式 2-② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）により計測される効果発現の計測
- 添付様式 2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式 3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式 3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式 3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式 4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式 4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式 4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式 5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式 5-② まちの課題の変化
- 添付様式 5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式 5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式 5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式 6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式 6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式 7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式 8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式 9 有識者からの意見聴取

添付様式 1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		歩行者通行量:128,300人 歩行者空間満足度:47.8%	歩行者通行量:132,400人 歩行者空間満足度:52.7%	全体事業費が22%増加したため、指標も上乗せした。
D. その他（ ）					

基幹事業

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道上市250号線	134	L=260m, W=7m			当該実施を見合わせたため削除	影響なし		
道路	市道上市254号線	300	L=110m, W=17m	401	L=110m, W=17m	事業費精査による事業費増	事業費増に伴い、歩行者通行量、歩行者空間満足度とも指標の目標値を上方修正した。		●
道路	市道上市259号線	345	L=150m, W=17m	532	L=150m, W=17m	事業費精査による事業費増	事業費増に伴い、歩行者通行量、歩行者空間満足度とも指標の目標値を上方修正した。		●
道路	幹線市道4号線	522	L=425m, W=11~14m	389	L=425m, W=11~14m	事業費精査による事業費減	影響なし		●
道路	市道上市190号線	40	L=75m, W=6.5m			当該実施を見合わせたため削除	影響なし		
道路	市道上市191号線	40	L=55m, W=6.5m			当該実施を見合わせたため削除	影響なし		
道路	市道上市196号線	174	L=120m, W=12~14m	614	L=120m, W=12~14m	事業費精査による事業費増	事業費増に伴い、歩行者通行量、歩行者空間満足度とも指標の目標値を上方修正した。		●
道路	芸術館西通り線	230	L=125m, W=12m	299	L=125m, W=12m	事業費精査による事業費増	影響なし		●
道路	幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)			46	A=4,000㎡	平成31年2月に計画変更して追加	公共交通ネットワークの形成による利便性の高い都市の実現に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	市民会館連絡通路	59	L=3m, W=3m	48	L=3m, W=3m	事業費精査による事業費減	影響なし		●

地域生活基盤施設	三の丸周辺地区			5	N=15基	令和2年9月に計画変更して追加事業箇所の変更	歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
地域生活基盤施設	国道50号上空通路			260	L=40m, W=4m	令和2年9月に計画変更して追加	歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
高質空間形成施設	市道上市250号線	57	L=260m, W=7m			当該実施を見合わせたため削除	影響なし		
高質空間形成施設	市道上市254号線	42	L=110m, W=17m	10	L=110m, W=17m	事業費精査による事業費減	歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
高質空間形成施設	市道上市259号線	63	L=150m, W=17m	10	L=150m, W=17m	事業費精査による事業費減	歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
高質空間形成施設	幹線市道4号線	69	L=245m, W=11~14m	33	L=260m, W=11~14m	事業費精査による事業費減, 事業区域の拡大	歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
高質空間形成施設	市道上市196号線	24	L=120m, W=12~14m	7	L=120m, W=12~14m	事業費精査による事業費減	歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
高質空間形成施設	芸術館西通り線	31	L=125m, W=12m	53	L=125m, W=12m	事業費精査による事業費増	事業費増に伴い、歩行者通行量、歩行者空間満足度とも指標の目標値を上方修正した。		●
高質空間形成施設	水戸駅北口駅前広場	446	スロープ5か所	697	スロープ1か所, シェルター2か所, EV2基	事業費精査による事業費増, 事業内容の拡大	事業費増に伴い、歩行者通行量、歩行者空間満足度とも指標の目標値を上方修正した。		●
高質空間形成施設	幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)			14	A=4,000㎡	平成31年2月に計画変更して追加	公共交通ネットワークの形成による利便性の高い都市の実現に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	国道50号(上り線バス停)			2	バス停1か所	令和2年4月に計画変更して追加	事業費増に伴い、歩行者通行量、歩行者空間満足度とも指標の目標値を上方修正した。		●
高質空間形成施設	国道50号(歩道改修)			3	A=400㎡	令和2年4月に計画変更して追加	事業費増に伴い、歩行者通行量、歩行者空間満足度とも指標の目標値を上方修正した。		●

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式 1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー 環境整備事業									
優良建築物等 整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業									
街なみ環境整 備事業									
住宅地区改良 事業等									
都心共同住宅 供給事業									
公営住宅等整 備									
都市再生住宅 等整備									
防災街区整備 事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
志村病院移転建替事業		五軒町1丁目	約282	約282	平成29年度～平成30年度	平成29年度～平成30年度	事業完了	※事業主体:志村病院
協同病院建替事業		宮町3丁目	-	-	平成28年度～令和4年度	平成28年度～令和4年度	事業中	※事業主体:民間
新市民会館		泉町1丁目	約19,200	約19,200	平成29年度～令和2年度	平成29年度～令和4年度	事業完了	
泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業		泉町1丁目	約26,300	約26,300	平成28年度～令和2年度	平成28年度～令和4年度	事業完了	※事業主体:市街地再開発組合
水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業		三の丸1丁目		約12,403		平成28年度～令和2年度	事業中	
街なみ環境整備事業		栄町若宮線	712	712	平成28年度～平成30年度	平成28年度～平成30年度	事業完了	
街なみ環境整備事業		市道上市6号線	200	200	平成31年度～令和2年度	平成31年度～令和2年度	事業完了	
街なみ環境整備事業		市道上市205号線	473	473	平成28年度～平成29年度	平成28年度～平成29年度	事業完了	
街なみ環境整備事業		義公生誕の地	227	227	平成31年度～令和3年度	平成31年度～令和3年度	未着手	
街なみ環境整備事業		水戸大手門広場	532	532	平成28年度～平成31年度	平成28年度～平成31年度	事業完了	
道路		五軒町泉町線	約2,500		平成30年度～令和3年度		当該事業の実施を見合わせ ため削除	
道路		泉町天王町線	約3,400	約3,400	平成30年度～令和3年度	平成30年度～令和3年度	当該事業の実施を見合わせ ため削除	
立地適正化計画策定事業		市全域	15	15	平成29年度～平成30年度	平成29年度～平成30年度	事業完了	

添付様式 2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値 (エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
指標 1	歩行者通行量	人	国道50号沿線の中心市街地において、平日と休日2日間の歩行者通行量を計測し、その結果を評価値とする。			109,800	H27	132,400	R3	モニタリング			モニタリング			○
										事後評価	確定見込み	○	89,489	事後評価	△	
指標 2	歩行者空間満足度	%	中心市街地の歩行者を対象にアンケート調査を実施する。整備対象路線の満足度を6段階で評価し、それを評価値とする。			26.0	H27	52.7	R3	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み	○	58.9	事後評価	○	
指標 3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標 4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標 5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標 1	歩行者通行量は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛によって減少しているため、数値目標の達成が困難であると判断した。	
指標 2	歩行者空間満足度は、水戸駅、芸術館周辺地区での整備により、利用者の満足度が向上し、目標値を上回った。	
指標 3		
指標 4		
指標 5		

添付様式 2－② その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 （時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値 （ア）		従前値 （イ）		数値（ウ）			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 （指標計測上の問題点、課 題等）
その他の 数値指標 1								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標 2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標 3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。

添付様式 2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

幹線市道4号線、市道上市196号線、芸術館西通り線、国道50号(歩道)を整備することにより、芸術館周辺地区において一体的な空間が造成され、交流拠点としての価値が高まった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
居心地がよく歩きたくなるまちなかづくりに 向けた試行・実証実験	予定どおり実施した	●【実施頻度】計1回 【実施時期】令和3年度 【実施結果】屋外空間を整え、快適な居場所を作ることで、実証実験前後で歩行者通行量が増加した。	今後も継続し実施する予定。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名：組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市構造再編集集中支援事業ワーキンググループ	庁内の関係各課 (政策企画課, 財政課, 交通政策課, 商工課, 建設計画課, 市街地整備課, 泉町周辺地区開発事務所, 都市計画課)	令和4年10月17日～令和4年10月31日	都市計画部 都市計画課 (都市構造再編集集中支援事業 担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別			指標1	指標○		指標○		指標○		
指 標 名			歩行者空間満足度							
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	
基幹事業	道路・市道上市254号線	○	道路を整備したことにより、交通体系の安全性、快適性が高まり、満足度の向上につながった。							
	道路・市道上市259号線	○								
	道路・幹線市道4号線	◎								
	道路・市道上市196号線	◎								
	道路・芸術館西通り線	◎								
	道路・幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)	○								
	地域生活基盤施設・市民会館連絡通路	○								
	地域生活基盤施設・三の丸周辺地区	○								
	地域生活基盤施設・国道50号上空通路	○								
	高質空間形成施設・市道上市254号線	○								
	高質空間形成施設・市道上市259号線	○								
	高質空間形成施設・幹線市道4号線	◎								
	高質空間形成施設・市道上市196号線	◎								
	高質空間形成施設・芸術館西通り線	◎								
	高質空間形成施設・水戸駅北口駅前広場	◎								
	高質空間形成施設・幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)	◎								
	高質空間形成施設・国道50号(上り線バス停)	◎								
	高質空間形成施設・国道50号(歩道改修)	◎								

提案事業								
関連事業	志村病院移転建替事業	◎						
	協同病院建替事業	○						
	新市民会館	◎						
	泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業	◎						
	街なみ環境整備事業 栄町若宮線	○						
	市道上市6号線	○						
	市道上市205号線	○						
	義公生誕の地	○						
	水戸大手門広場	○						
	道路 泉町天王町線	◎						
	立地適正化計画策定事業	○						

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に

今後の活用	中心市街地の交通拠点や周辺道路のさらなる整備を進め、回遊性の高い交流拠点を目指す。			
-------	---	--	--	--

添付様式 4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

[illegible]

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
- －：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	新型コロナウイルス感染症が 終息に向かえば、改善の方向 に進むと考えられる。			
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市構造再編集中支援事業ワーキンググループ	庁内の関係各課 (政策企画課, 財政課, 交通政策課, 商工課, 市街地整備課, 泉町周辺地区開発事務所, 都市計画課)	令和3年7月28日～令和3年8月6日	都市計画部 都市計画課 (都市構造再編集中支援事業 担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
拠点間の回遊性を高め、人々が安心して快適に移動できる環境を整える。	道路を整備したことにより、歩行者空間の安全性が向上した。また、三の丸周辺地区に案内標示板を整備したことにより、中心市街地の回遊性が向上した。	未だ安全な歩行者空間が確保されていない道路がある。	道路整備により、歩行者空間の安全性や快適性の向上に一定の効果が得られたが、今回整備を行った箇所以外に未だ十分な歩行者空間が確保されていないところもあり、今後も計画的な事業計画のもと段階的に整備を進める必要がある。また、自転車についても、中心市街地において一定の通行量があり、十分な自転車走行空間を確保することで歩行者空間の安全性がより向上すると考えられることから、今後整備を検討する必要がある。 交通拠点のバリアフリー化等の環境改善は今後も計画的に推進する必要がある。
人と環境にやさしいまちなか交流体系の確立に向け、公共交通機関の利便性向上や歩いて楽しめる道路空間整備を図る。	水戸駅北口駅前広場や、水戸駅南口バス待機所を整備したことにより、交通結節点の快適性や利便性が向上した。	水戸駅北口駅前広場のバリアフリー化が一部残っている。	

＊これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式５－③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	歩行者空間の安全性	未整備の道路の整備を進め、整備済み区間を増やすことで、安全な歩行者空間の維持を図る。	・照明塔の設置 ・電線地中化
	交通拠点の快適性	駅のバリアフリー化や、バス待ち環境の改善を推進する。	・水戸駅のスロープ改修 ・バス停の環境改善 ・エレベーター改修

B欄 改 善 策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	歩行者空間の利便性及び安全性の確保	当該計画で未完成となった事業を次期計画に引き継ぎ、整備を進める。	・照明塔設置 ・歩道整備 ・自転車走行空間の検討
	交通拠点の環境改善	当該計画で未完成となった事業を次期計画に引き継ぎ、整備を進める。	・水戸駅のスロープ改修 ・バス停の環境改善 ・エレベーター改修
	官民連携による民間活力の活用		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式５－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式３）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式４－②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式４－③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式５－②）を再確認した。

添付様式５－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

今後想定される事業として、官民連携による民間活力の活用を検討する。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度		年度		確定	見込み			あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項
指標 1	歩行者通行量	人	109,800	H27	132,400	R3	確定	○	89,489	×	あり	○	令和7年度	令和7年度の歩行者通行量調査により達成状況を確認する。	
指標 2	歩行者空間満足度	%	26.0	H27	52.7	R3	確定	○	58.9	○	あり				
指標 3				H		H	確定				あり				
指標 4				H		H	見込み				なし				
指標 5				H		H	確定				あり				
							見込み				なし				
その他の数値指標 1				H			確定								
							見込み								
その他の数値指標 2				H			確定								
							見込み								
その他の数値指標 3				H			確定								
							見込み								

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	歩行者空間満足度調査は目標値を達成しており、一定の活性化が図られた。	段階的な整備では、計画ごとに一定の成果が達成されるよう工夫する。
	うまくいかなかった点	歩行者通行量は交付期間中に新型コロナウイルス感染症がまん延したため、目標達成が困難であった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	歩行者空間満足度は、目標と整合性が図られた。	計画作成において、目標と整合した適切な事業の選択を行う。
	うまくいかなかった点	特になし	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	－	都市再生整備計画について、より積極的に公表していく。
	うまくいかなかった点	－	
PDCAによる 事業 ・評価の進め方	うまくいった点	特になし	各課と密な連携をとり、目標を意識して事業を実施していく。
	うまくいかなかった点	次期計画に持ち越している事業があるが、すべて完了していればさらに詳細に評価を行うことができた。	
その他	うまくいった点	特になし	
	うまくいかなかった点	特になし	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

令和4年度より、水戸市都市中枢地区（2期）を実施している。事後評価は、最終年度である令和7年度に実施予定。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに原案を掲載	令和4年11月17日～令和4年12月1日(2週間)	令和4年11月17日～令和4年12月6日	担当課窓口，郵送，電子メールにより受け付ける。	都市計画部都市計画課
広報掲載・回覧・個別配	市広報誌に，市のホームページ及び担当課窓口で原案を公表している旨を掲載	令和4年11月1日号	令和4年11月17日～令和4年12月6日		
説明会・ワークショップ	-				
その他	担当窓口において原案閲覧	令和4年11月17日～令和4年12月1日(2週間)	令和4年11月17日～令和4年12月6日		

住民の意見	なし
-------	----

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成			実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	山田 稔 海老原 健 鹿倉 よし江	茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学領域教授 株式会社常陽産業研究所 地域研究部長 兼 地域研究センター長 水戸女性フォーラム会長	令和4年12月	都市計画部都市計画課	水戸市都市再生整備計画事業評価専門委員規則	独自に設置
その他の委員						

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に基づく方法で、適正に事後評価を行っていることを確認された。
	成果の評価	おおむね妥当であるが、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、現時点で未完成の事業も多いことから、成果を正に評価できる状況ではないという意見があった。
	実施過程の評価	アンケート調査は広く理解しやすい手法であり、おおむね妥当である、という意見があった。
	効果発現要因の整理	おおむね妥当であるが、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、現時点で未完成の事業も多いことから、成果を正に評価できる状況ではないという意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	妥当である。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	妥当である。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・新市民会館オープンに伴い、人が増えることにより生じる弊害を想定し対策するべきではないか、という意見があった。 ・道路整備は進んだが、周辺駐車場整備も一層望まれるとの意見があった。
	フォローアップ	・未完成の事業があるため、指標2も事業完了後に再評価が必要なのではないかと意見があった。 ・場所ごとに分けて指標を評価するといいいのではないかと意見があった。
	その他	・国土交通省の「まちなかの居心地の良さを測る指標」なども参考に、多面的な評価を検討してほしいという意見があった。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・妥当である。とくに自転車との共存は新たな重要課題として浮上している、という意見があった。 ・歴史的・文化的資産を大切にしながら「すべての人が安心して暮らせるまち」を目指し、やさしいまちづくりを行ってほしいという意見があった。

その他	・Mitorio地区西側道路の歩道と西の谷の接続、東側道路の歩道と紀州堀とのスムーズな接続は、千波湖を含めたウォークアブルシティを構築していくために重要な要素になると考える。公園の遠路を街中に引き込む発想で取り組んでいただきたい、という意見があった。
-----	---

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

（７） 有識者からの意見聴取

添付様式 ９ 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理（添付様式５）、今後のまちづくり方策の検討（添付様式６）、評価委員会の審議（添付様式９）以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画（第７回変更）

み と し と し ちゅうすう
水戸市都市中枢地区

いばらき み と
茨城県 水戸市

令和３年１０月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	水戸市	地区名	水戸市都市中枢地区	面積	157	ha							
計画期間	平成	29	年度	～	令和	3	年度	交付期間	平成	29	年度	～	令和	3	年度

目標
目標:大目標:全ての人が安心して暮らせる多極ネットワーク型コンパクトシティの実現 目標1:都市機能の集約と居住の誘導による機能的な都市の実現 目標2:公共交通ネットワークの形成による利便性の高い都市の実現
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) 本市は、かつて戦災復興都市計画により現在の国道50号が都市軸と位置付けられ、建築物の高層化と大型小売店の進出により中心市街地が発展しましたが、車社会を背景とした大型商業施設の郊外部の進出により、歩行者通行量の減少、空き店舗率の上昇等に見られるように、中心市街地の活力が低下してきております。 このような中において、平成26年度に都市マスタープランを定め、都市機能や居住環境の集積と交通体系の確保による持続可能な集約型都市の形成をはじめ、豊かな自然環境を保持し、環境負荷が少ない低炭素・循環型の都市の形成、災害による被害を防止し、災害時もその機能を継続できる都市の形成、中心市街地の活性化や交流人口増を持続的に生み出す魅力ある都市の形成などを将来像とし、社会情勢の変化にも柔軟に対応できる持続可能なコンパクトなまちの実現に向け、まちなかへの都市機能の集約、強化及び居住を誘導する施策を進めております。 また、これらの取り組みをより一層推進していくため、現在、立地適正化計画の策定を進めております。 こうしたことから、水戸駅周辺地区、南町周辺地区、泉町周辺地区、大工町周辺地区の国道50号を軸とした中心市街地において、水戸芸術館や新たな市民会館などの芸術文化拠点、商業・業務機能等を集積させる本市のにぎわいの核となる空間づくりを進め、活力ある持続可能なまちの再構築を図ります。 公的不動産活用への考え方については、公共施設等総合管理計画と連携しながら、都市機能誘導区域や居住誘導区域を踏まえた公共施設の集約・複合化や効果的な配置を進めます。 また、水戸市都市中枢地区における誘導施設として、志村病院を民間主体で整備し、市民が安心して暮らせる拠点とします。
まちづくりの経緯及び現況
本市の中心市街地は、水戸駅から大工町1丁目にかけての国道50号上において、約1,800本/日もの路線バスの運行があり、市内の交通の大動脈を形成し、通勤・通学・通院など市民の日常生活を支える移動手段として重要な役割を担っております。 その一方で、モータリゼーションの進展や大規模小売店舗の郊外立地など都市機能の拡散に伴い、公共交通利用者の減少が続いております。こうした状況の中、中心市街地(都市中枢ゾーン)における歩行者通行量の減少や空き店舗の増加など、空洞化が進みつつあり、中心市街地(都市中枢ゾーン)の再生が求められております。 また、中心市街地では、人々が集い、にぎわう環境の創出、多世代が交流する拠点の形成を目指し、水戸芸術館に隣接する区域において、泉町1丁目北地区市街地再開発事業が進められており、令和4年度に、その核施設となる新市民会館の完成を目指しています。 泉町1丁目北地区市街地再開発事業の地権者である志村病院は、中心市街地において病院開設を予定しており、安定的かつ持続可能な医療体制が確保されている状況です。
課題
県都にふさわしい都市核の強化に向け、商業、業務、行政、教育、医療、居住機能など、多くの人が集い、にぎわい、交流を創出する様々な都市中枢機能の連携強化や維持・集積及び定住人口の増加の促進が望まれます。 人口減少社会や超高齢社会の到来、地球環境問題の深刻化など、時代の課題に対応することのできる持続可能な都市構造の確立に向けて、中心市街地(都市中枢ゾーン)を中心として、都市中枢機能の集積を図るコンパクトシティを実現することが必要となっております。 また、新たな交流やにぎわいを創出するため、より一層のアクセス向上を図る必要があり、市街地に残る美しい自然や歴史、芸術、文化など、水戸の魅力ある拠点間の回遊性を高めるために、市街地さらには本市を訪れる人々が、安心して快適に移動できる環境を整えることも必要です。 人と環境にやさしいまちなか交流体系の確立に向け、公共交通機関の利便性向上や歩いて楽しめる道路空間整備を図るなど、一体的な取組として推進する必要があります。
将来ビジョン（中長期）
○水戸市第6次総合計画 県都にふさわしい都市核の強化に向け、歴史的資源や文化的資源を生かしながら、商業、業務、行政、教育、医療、居住機能など、多くの人が集い、にぎわい、交流を創出する様々な都市中枢機能の連携強化と一層の集積を図るとともに、再開発等による交流拠点づくりや人と環境にやさしいまちなか交通体系の整備に加え、まちの活性化に向けたソフト事業を総合的に展開しながらにぎわいあふれる都市核としての中心市街地の再生を図ります。 ○水戸市都市計画マスタープラン 都市中枢機能の強化とさらなる集積を図るとともに、定住化の推進や歩いて暮らせる歩行環境の整備、市街地再開発事業による交流拠点づくりを総合的に展開しながら、魅力的な都市空間の形成を図ります。 ○水戸市中心市街地活性化基本計画 多様な都市機能の更なる集約や産業の創生を図るとともに、新たな交流拠点の構築及び徒歩や自転車の利便性向上、公共交通の充実により、誰もが気軽に訪れ、快適に暮らせるまちなかへとリデザインする。また、高齢者から若年層まで、多様な人々が集い、質の高い生活を享受できる環境整備や交流活性化を促進していきます。 ○立地適正化計画 医療・福祉施設、商業施設、行政サービス等の市民の生活を支える機能や居住がまとまって立地する、または公共交通ネットワークによりこれらの機能にアクセスできる等、必要な生活サービスが住まいの身近にある「全ての人が安心して暮らせる多極ネットワーク型のコンパクトシティの実現」を目指します。 ○水戸市公共交通基本計画 まちなかと各地域が有機的に公共交通で結ばれたコンパクトシティの実現に向け、まちづくりと公共交通の連携により「全ての人が安心して移動できる交通体系の実現」を目指します。

都市構造再編集集中支援事業の計画							
都市機能配置の考え方							
公共交通のアクセス利便性が高い鉄道駅などを「中心拠点」「地域／生活拠点」として位置付けるとともに、拠点の徒歩圏内に都市活動を支える各種都市機能を維持・確保します。各拠点においては、医療、福祉、身近な買物といった生活サービス機能を維持することで、これらの拠点を生活圏とする郊外部を含め、市民の生活利便性を確保します。公共施設等総合管理計画と連携しながら、都市機能誘導区域や居住誘導区域を踏まえた公共施設の集約・複合化や効果的な配置を進めます。都市機能の誘導にあたっては、各種インセンティブ(支援措置)を講じることで、実効性を高めていきます。							
都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方							
国道50号を軸とした水戸駅から大工町までの中心市街地を立地適正化計画の「都市機能誘導区域」に設定し、泉町1丁目北地区市街地再開発事業により移転する志村病院が中心市街地に残留することで都市機能の維持・強化につながるため、誘導施設として病院を民間主体で整備し、安定的な地域医療体制の充実を図り、市民が安心して暮らせる拠点とします。							
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等							

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
						目標年度	目標年度
歩行者通行量	人	国道50号沿線の中心市街地における平日と休日2日間の歩行者通行量	新たなまちなか交流拠点及び歩いて快適な道路空間の整備を進めることで、回遊性を高め、歩行者通行量を増加させることを目指す。	109,800	H27	132,400	R3
歩行者空間満足度	%	中心市街地における歩行者空間満足度	新たなまちなか交流拠点及び歩いて快適な道路空間の整備を進めることで、回遊性を高め、まちなかのにぎわいの再生を図る。	26.0	H27	52.7	R3

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【都市機能の集約と居住の誘導による機能的な都市の実現】 ・新たな交流拠点づくりや歴史、芸術、文化を生かした事業を進めるとともに、それらをネットワーク化することで回遊性を高めるなど、人々が集まるまちなかを目指します。 ・本市の玄関口である水戸駅前広場を改修し、市内外の人々の交流ネットワークの強化を図ります。 ・医療・福祉・商業等の都市機能を中心拠点や生活拠点に集約し、効率的な生活サービスを図るとともに、居住の誘導により一定のエリアで人口を確保することで、生活サービスやコミュニティの維持を図ります。 ・令和2年4月1日の「元氣な明日を目指す健康都市宣言」を踏まえ、市民の健康増進を目的とした居心地が良く歩きたくなるまちづくりを目指しつつ、徒歩や公共交通などによる回遊性の向上を図ります。		【基幹事業】道路(幹線市道4号線、芸術館西通り線、市道上市254号線、259号線、196号線/市) 【基幹事業】地域生活基盤施設(市民会館連絡通路、国道50号上空通路、三の丸周辺地区/市) 【基幹事業】高質空間形成施設(水戸駅北口駅前広場/市) 【関連事業】新市民会館、泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業、栄町若宮線、市道上市6号線、205号線、義公生誕の地、水戸大手門広場、協同病院建替事業(民間)、志村病院移転建替事業(民間) 立地適正化計画策定事業(市)
【公共交通ネットワークの形成による利便性の高い都市の実現】 ・人と環境にやさしい交通体系の確立に向け、歩いて楽しめる道路空間整備を進めます。 ・水戸協同病院建替事業に併せ、協同病院周辺の歩行者空間の整備とネットワークの形成を図ります。 ・都市核と拠点間を結ぶ交通ネットワークの強化を図ります。 ・令和2年4月1日の「元氣な明日を目指す健康都市宣言」を踏まえ、市民の健康増進を目的とした居心地が良く歩きたくなるまちづくりを目指しつつ、徒歩や公共交通などによる回遊性の向上を図ります。		【基幹事業】道路(幹線市道4号線、芸術館西通り線、市道上市254号線、259号線、196号線、幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)/市) 【基幹事業】地域生活基盤施設(市民会館連絡通路、国道50号上空通路/市) 【基幹事業】高質空間形成施設(幹線市道4号線、芸術館西通り線、市道上市254号線、259号線、196号線、幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)、国道50号/市) 【関連事業】栄町若宮線、市道上市6号線、205号線、協同病院建替事業(民間)、泉町天王町線
その他		
【誘導施設の整備】 ・誘導施設として、志村病院を民間主体で整備し、市民が安心して暮らせる拠点とします。		

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-②

交付対象事業費	3,422	交付限度額	1,711	国費率	0.5
---------	-------	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業															
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分		交付対象 事業費	費用便益比 B／C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路		市道上市254号線	水戸市	直	L=110m, W=17m	H27	R3	H29	R3	409	401	401		401	—
道路		市道上市259号線	水戸市	直	L=150m, W=17m	H28	R3	H29	R3	1,225	532	532		532	—
道路		幹線市道4号線	水戸市	直	L=425m, W=11～14m	H28	R3	H29	R3	525	389	389		389	—
道路		市道上市196号線	水戸市	直	L=120m, W=12～14m	H29	R3	H29	R3	656	614	614		614	—
道路		芸術館西通り線	水戸市	直	L=125m, W=12m	H28	R3	H29	R3	236	299	299		299	—
道路		幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)	水戸市	直	A=4,000㎡	H30	H31	H30	H31	46	46	46		46	—
公園															
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設		市民会館連絡通路	水戸市	直	L=3m, W=3m	H29	R2	H29	R2	48	48	48		48	—
地域生活基盤施設		三の丸周辺地区	水戸市	直	N=15基	R2	R2	R2	R2	5	5	5		5	—
地域生活基盤施設		国道50号上空通路	水戸市	直	L=40m, W=4m	R3	R4	R3	R3	329	260	260		260	—
高質空間形成施設		市道上市254号線	水戸市	直	L=110m, W=17m	H27	R3	R3	R3	10	10	10		10	—
高質空間形成施設		市道上市259号線	水戸市	直	L=150m, W=17m	H29	R3	R3	R3	10	10	10		10	—
高質空間形成施設		幹線市道4号線	水戸市	直	L=260m, W=11～14m	R2	R3	R2	R3	33	33	33		33	—
高質空間形成施設		市道上市196号線	水戸市	直	L=120m, W=12～14m	H31	R3	H31	R3	7	7	7		7	—
高質空間形成施設		芸術館西通り線	水戸市	直	L=125m, W=12m	H30	R3	R2	R3	53	53	53		53	—
高質空間形成施設		水戸駅北口駅前広場	水戸市	直	スロープ1か所、シェルトアー2か所、EVI基	H18	R3	H29	R3	1,282	608	608		697	—
高質空間形成施設		幹線市道39号線(水戸駅南口バス待機所)	水戸市	直	A=4,000㎡	H30	H31	H31	H31	14	14	14		14	—
高質空間形成施設		国道50号(上り線バス停)	水戸市	直	バス停1か所	R2	R4	R2	R3	37	2	2		2	—
高質空間形成施設		国道50号(歩道改修)	水戸市	直	A=400㎡	R2	R3	R2	R3	33	3	3		3	—
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	テレワーク拠点施設														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										4,958	3,334	3,334	0	3,422	1.7

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	交付対象		交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造 支援事業														
事業活用 調査														
まちづくり活動推 進事業														
合計										0	0	0	0	0
												合計(A+B)	3,422	

[illegible][illegible]

水戸市都市中枢地区(茨城県水戸市)	面積	157 ha	区域	宮町2丁目、三の丸1丁目、南町1～3丁目、大町1丁目、泉町1～3丁目、大工町1～2丁目、栄町1～2丁目の全部、宮町1丁目、3丁目、三の丸2丁目、梅香1～2丁目、大町2～3丁目、備前町、天王町、五軒町1～3丁目、新荘3丁目、金町3丁目、八幡町、元山町1丁目の一部
-------------------	----	--------	----	--

